

古里宇和島の 風景楽しんで

大阪の高齢者施設で暮らす宇和島市出身の女性のために、桃山学院大（大阪府和泉市）の学生が女性の思い出の地を巡って撮影した動画の上映会が、大阪市であった。新型コロナウイルスの影響で外出が難しいお年寄りに旅行気分を味わってもらおうという企画で、女性は懐かしい風景の映像に「涙が出る」と喜んだ。

大阪の特養ホームで上映会

同大で福祉を学ぶ学生を中心とした学生団体の取り組みの一環。大阪市の特別養護老人ホームに入所している居村福美さん（80）への聞き取りを基に昨年12月、メンバー6人が宇和島、西予両市を訪れ撮



居村さんの思い出の地の映像が映し出された上映会
（桃山学院大提供）

大学生撮影 入所の居村さん VR「町歩き」も

影に臨んでいた。

動画は10分弱で、居村さんの母校の番城小学校や、夏祭りを訪れた和霊神社、親戚が住んでおり遊びに通ったという西予市宇和地域との町並み、宇和海沿岸の真珠養殖場で学生が体験した真珠の取り出しの様子を盛り込んだ。

1月31日にホームで開いた上映会では、居村さんや入所者ら約30人が鑑賞。現地の映像を使った仮想現実（VR）



名前も現在の番城小学校に変わりました。

学生が宇和島市の小学校を収めた動画の一場面

も準備し、居村さんはゴーグルを着けて模擬の町歩きを楽しんだ。お土産の真珠のお守りを受け取り、じゃこ天やかんきつを味わった居村さんは「神社も変わってなかった。田舎に帰ったよう。懐かしい」と顔をほころばせた。

居村さんの反応にメンバーは「やってよかった」と充実した表情。編集を担当した佐藤舜さん（20）は、字幕をユニバーサルデザインにしたり、現地の音を残したりして工夫したと振り返り「大変なところもあったが、こたわって作った」と話していた。

（阪和舞）



宇和海産の真珠のお守りを受け取った居村さん
（桃山学院大提供）



居村さん（前列右から2人目）に楽しんでもらおうと動画の上映会を開いた学生ら（桃山学院大提供）